

50周年記念号の編集にたずさわって

記念誌編集部会 部長 佐川和則

これまで大阪体育学会は2回の記念誌を発行してきました。最初は、日本体育学会大阪支部から独立学会として大阪体育学会が発足した翌年の平成3年（1991年）に発行した、「大阪体育学会の30年」と題した30周年記念誌です。2度目はその10年後の平成13年に機関誌の記念号として発刊した「大阪体育学研究 No.39 10周年記念号」です。そして今回、3度目の記念誌「大阪体育学研究 No.48 50周年記念号」を刊行することができました。この記念誌は、「10周年記念号」以降の9年間の事業をまとめるとともに、昭和36年（1961年）から数えて50周年を迎えた本学会の活動を記念する目的で、50周年記念事業の一環として計画されたものです。

2度目の記念誌が“10周年”となっているのは、独立学会としての「大阪体育学会」が発足して10周年という意味です。これに対し、1回目と3回目に記された年数は、日本体育学会大阪支部の実質的スタート年からの経過年数を表しています。これら年数の表記は少々紛らわしく思いますので、今後はどちらかに統一されるのが望ましいと考えます。いずれにしても、大阪体育学会の半世紀の歴史は、この3冊に網羅されています。記念事業のテーマのごとく、3冊合わせて目を通していただきわれわれの学会の歴史を“ひもといて”いただければ幸いに思います。

「大阪体育学研究 No.48 50周年記念号」には、(社)日本体育学会会長の福永哲夫先生をはじめ、支部長の方々から祝辞をいただきました。また平成10年度からの歴代会長および歴代理事長の方々、ならびに平成17年度で廃止された専門分科会の最後の専門分科会選出理事の方々に、この10年を振り返ってその思い出などを語っていただきました。さらに、平成18年度から始まった領域別研究会の代表の方々と大学院生会員および会員外の方に学会の今後の展望と期待を表してもらいました。お忙しい中、原稿の執筆に協力をいただいた皆様にこの場をお借りし、あらためてお礼を申し上げます。

「10周年記念号」以降の9年間の事業は、事務局（関西大学）が中心となってまとめていただきました。機関誌に掲載された論文・発表演題のリスト、講演会の演者とそのテーマ、年度役員名簿、そして沿革年表などを掲載しました。記念大会の準備に追われる中、精力的に尽力いただいた事務局の方々に感謝いたします。

50周年記念号63ページの写真は、通算123回の理事会時に撮影されたものです。これは、これまでの記念誌には役員や歴史的な事象を撮影した写真が乏しいことを、50周年記念事業「なにわのスポーツをひもとく」展示イベントを準備しながら憂いた後藤幸弘前会長の発案によるものです。われわれの学会の活動の歴史が、論文や研究発表という形だけでなく、写真や映像などで記録しておくことの必要性を指摘していただきました。記録媒体の発達した現代に身を置きながら活字だけに頼ってきた学会の広報活動を反省し、今後は映像や音声なども取り入れたもので記録し発展させていければと考えた次第です。